

intertek

news

Vol.79

ISO関連季刊情報誌(年4回発行)

CONTENTS

01 新年のご挨拶

02 特集

03 ISOの現場浸透に役立つ「タートル図」(2)

04 News&Topics

- ▶ 世界のISO認証件数が発表
- ▶ ISO 22000:新セミナー案内
- ▶ ISCC認証(国際持続可能性カーボン認証)開始
- ▶ Information:ISO/IEC 27001:2022改訂について

05 審査の現場から

- ▶ お客様紹介
(株式会社神山鉄工所)
- ▶ 連載よみもの「審査員の心理」(環境編)
「運用管理(1)」

06 連載よみもの

- ▶ 審査員リレーエッセイ
「健康第一で」
(審査員 藪田 勝)
- ▶ 環境とISO14001
「TCFD提言による気候関連報告」

07 お客様からのお便り

- ▶ 「カクシン・センイ・カンパニー」
(丸井織物株式会社)
- ▶ 「北海道から、暮らしの豊かさを届けたい」
(株式会社フィッシュランド 眼鏡事業部加工センター)

08 研修コースのご案内

- ▶ ちょっといっぴく
- ▶ 研修コース案内
- ▶ 受講生からのお便り
(株式会社ニチレイフレッシュプロセス)

インターテック・サーティフィケーション株式会社

発行 大阪事務所

◆バックナンバーは、弊社ホームページにてご覧いただけます。

<https://ba.intertek-jpn.com/>

新年のご挨拶

代表取締役 きむら ともあき
木村 朋聡

年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受けている皆さま、地震や台風・豪雨などの自然災害により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。長引くコロナ禍の収束、並びに一日も早い復旧復興を祈念いたします。

本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。



2020年の新型コロナウイルス感染症の拡大から、はや3年近く経過いたしました。インターテック・サーティフィケーションでは、新しいビジネスの様式や、テレワークなど仕事の形が変化する中、ISO認証サービスにおきましても、リモート(オンライン)審査の試みやオンラインセミナーの導入、プロセスのデジタル化など、新たなテクノロジーを取り入れながら、皆さまと共に進化をしてきました。2022年度におきましても、継続する新型コロナウイルス感染症の影響による審査スケジュールや審査員の変更などにご協力いただき大変ありがとうございました。

私達インターテックグループは、そのパーパス(存在意義)を第一に掲げている会社で、「世の中に、品質、安全とサステナビリティをもたらす」ことを会社の目的にしております。このパーパスを達成するために、私達は、あらゆる組織の方々から信頼され、品質にかかわる全てを任せさせていただけるパートナーとなり、皆さまの課題やお困りを解決するための様々なお手伝いをしていきたいと考えております。

インターテック・サーティフィケーションでは、品質、環境、労働安全衛生、情報セキュリティ、食品安全、農場管理など、お客様の持続的発展をサポートする多くの認証サービスを提供してきました。そして、世の中の移り変わりと共に、上記に加え、新たな認証が必要とされています。特に昨今、社会的関心の高まりとともに、サステナビリティへ取り組む組織をサポートする認証へのニーズが高まっています。インターテックでは、このご要望にお応えするべく、従来から提供している温室効果ガス排出量検証、森林認証、海洋管理協議会認証などに加え、国際持続可能性カーボン認証、GRS、RCSなどオーガニックやリサイクルなどの観点で制定された繊維関連産業向けテキスタイルエクステンション認証、ホテルや飲食関連・商業施設などの安全衛生審査や室内空気環境品質検査認証など、新たなサービスを昨年より順次提供開始しています。

また、インターテックでは、これらの認証だけにとどまらず、お客様のサプライチェーンの監査や、目まぐるしく進化する世界各国の規格への対応や、製品、商品の試験、製品販売ネットワークの品質確認など、グループが掲げる総合品質保証(Total Quality Assured)を提供する体制をとっております。インターテックグループの社員一同も、これらのサービスの複合的な提供により、品質保証において最も信頼されるパートナーとして、お客様へ、品質、安全とサステナビリティをもたらすことで、お客様の事業の発展をサポートする努力を続けていきたいと思っております。

2023年が、皆さまと一緒に飛躍の年となりますように祈念いたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。引き続き、皆さまとご家族のご健康を心よりお祈り申し上げます。